

衆議院予算委員会ニュース

平成 20.2.21 第 169 回国会第 12 号

2月21日、第12回の委員会が開かれました。

- 1 平成 20 年度一般会計予算
平成 20 年度特別会計予算
平成 20 年度政府関係機関予算
- ・道路特定財源について、福田内閣総理大臣、増田総務大臣、額賀財務大臣、甘利経済産業大臣、冬柴国土交通大臣、大田国務大臣（経済財政政策担当大臣）、平井国土交通副大臣及び会計検査院当局に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

山本有二君（自民）

- ・今後の道路行政の進め方について、福田内閣総理大臣の考えを伺いたい。
- ・国幹会議（国土開発幹線自動車道建設会議）に分科会を設置するなど道路行政に関する議論の透明性を確保する方策を講じるべきではないか。
- ・民主党の道路特定財源に関する主張について、増田総務大臣の所見を伺いたい。

井上義久君（公明）

- ・道路特定財源に係る暫定税率の延長について福田内閣総理大臣の基本的な考えを伺いたい。
- ・道路の中期計画の事業量 5 9 兆円の積算根拠を国民に示す必要があるのではないか。
- ・道路特定財源をめぐる国土交通省関連団体の関わり方等の改革について、冬柴国土交通大臣が本部長を務める改革本部はいつ設置するのか、また、同改革本部はいつまでに結論を出そうとしているのか。
- ・自動車関係諸税について取得・保有・走行の各段階において 1 つに統合するなど簡素化の必要があるのではないか。

菅直人君（民主）

- ・イージス艦と漁船との衝突事故について、福田内閣総理大臣は自身の責任をどう考えるか。
- ・宮崎県では西部地域に比べて、東部地域では道路の整備が遅れているなどの地域間格差が見られるが、道路建設の優先度を公平に決定する必要があるのではないか。
- ・国幹会議を抜本的に改革する必要性があるのではないか。また地方六団体の代表も参加するような別の会議を開催する必要があるのではないか。
- ・特定財源廃止、暫定税率期限切れ、地方の財源確保、国

の道路整備及び道路建設ルールの抜本見直しを柱とする民主党の抜本改革案について福田内閣総理大臣はどう考えるか。

細野豪志君（民主）

- ・（財）道路保全技術センターが、国からの受託事業のほとんどを他機関に再委託している現状について冬柴国土交通大臣はどう考えるか、また、再委託先を明らかにする必要があるのではないか。
- ・（社）国際建設技術協会が国からの委託を受けて作成した調査報告書の内容が杜撰なものであることについて冬柴国土交通大臣はどう考えるか、また、同報告書の委託契約に係る諸経費の積算について設計業務等の積算基準を用いることは違法なのではないか。
- ・国土交通省地方整備局から（財）駐車場整備推進機構の直営駐車場の管理業務員への天下りの実態について徹底した調査の必要があるのではないか。

馬淵澄夫君（民主）

- ・道路の中期計画における費用便益分析（B / C）の算出方法が適当なものであるか否か。
- ・道路の中期計画は最新の統計に基づいて再提出するべきではないか。また、来年の予算審議において、新しい中期計画を改めて議論するべきではないか。

武正公一君（民主）

- ・道路事業における費用便益分析で 1.0 未満となった区間についても着工するのか。
- ・高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路 712km は国幹会議で審議されたのか。
- ・地域高規格道路の候補路線の指定を国土交通省の道路局長が行うことは改める必要があるのではないか。

・公益法人に対するチェックを徹底して行う必要があるのではないか。

岡田克也君(民主)

- ・「道路特定財源の見直しに関する具体策」(平成18年12月8日閣議決定)における「19年中に、今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画を作成する」と、今回の道路の中期計画との関係は何か、また同閣議決定に基づき政府案を作成するべきではないか。
- ・国土交通省OBが役員を占める財団法人で費用便益分析をするのではなく第三者機関とするべきではないか。
- ・道路特定財源の一般財源化に対する福田内閣の姿勢を伺いたい。
- ・多くの問題がある道路の中期計画は最新の統計に基づいて新しく作成し、国会で議論するとの政治決断が必要と思うが福田内閣総理大臣の見解を伺いたい。

- ・東京湾横断道路(アクアライン)について、計画が成功したとの認識を福田内閣総理大臣は持っているか。
- ・第5次全国総合開発計画における6本の長大橋道路計画の概要はいかなるものか。また、その事業費はどの程度か。
- ・長大橋道路計画の調査に費やした費用はどの程度か。また、その受注機関の選定に問題はなかったか。

日森文尋君(社民)

- ・道路特定財源に関する議論を通じて、国民の理解が得られたと考えているか。
- ・道路特定財源の用途は環境対策等へ拡大していく必要があるのではないか。
- ・どのようなものに使えば道路特定財源を一般財源化することで納税者の理解が得られると考えているか。

笠井亮君(共産)

2 派遣委員からの報告聴取

- ・平成20年度一般会計予算、平成20年度特別会計予算及び平成20年度政府関係機関予算審査のため、宮崎県に派遣された委員を代表して遠藤利明君から、茨城県に派遣された委員を代表して中山成彬君から、それぞれ報告を聴取しました。